

▶▶▶ あさぎり町

地域商社 『あさぎり財団』を核にした 笑顔あふれるまちづくり

分類 農林水産振興

(SDGs)関連するゴール



総事業費

1,325,000千円
寄附目標額 980,000千円

計画期間

2021年4月1日～2025年3月31日

数値目標

- あさぎり町での合計特殊出生率…2.10人
- あさぎり町内の総生産額
…………… 36,000百万円
- あさぎり町内の特定健診受診率
…………… 65.0%
- あさぎり町で幸せを感じる
町民の割合 …………… 70.0%



若者が活躍するまち。豊かなまち。幸せ感じるまち。

持続可能なまちづくりをめざして

本町は、豊かな地域資源を活用した農業を基幹産業とする町ですが、少子高齢化や生産年齢人口の減少、経済グローバル化の影響により、地域の産業を守り、経済活動を継続させるための人材と稼ぐ仕組みづくりが必要となっております。そこで、人材不足を補うため関係人口の増加により多様性に富む人材を確保し、農業をはじめとした地域産業の担い手として労働者を派遣する「特定地域づくり協同組合」の設立をめざします。

また、農業経営診断による個々の農業経営の強化やスマート農業への取り組み、みどりの食料システム戦略による環境に優しい農業を実践し、ローカルフードを活用した新しいビジネスモデルを創出するための中間支援組織となる地域商社『あさぎり財団』を立ち上げます。

このあさぎり財団では、これまでの農業とは違った新たな部門への挑戦、ICT等のデータ活用経営など若者が魅力を感じる「農家の働き方改革」に取り組むとともに、地域外の専門的知見に長けた人材として地域プロジェクトマネージャーを活用した更なる関係人口の増加や交流を図る拠点としてコワーキングスペースやサテライトオフィスを整備し、地域の潜在的な資源の掘り起こしや磨き上げで、商品及び人材の顕在化を図ります。このことで、地域内に稼ぐ力を持った担い手を確保でき、本町がめざす「若者が活躍するまち、豊かなまち、幸せ感じるまち」をつくりあげ、地域経済の活性化においてはSDGsの持続可能なまちづくりを図ります。



ここがポイント

地方創生の流れに乗り「活力あるまち・ひと・しごと」を実現する

- 若者がいきいきと活躍できるまち
- 地域資源を活用し稼ぐ力を高め、外部との交流を深め、経営安定を図る
- 誰もが安全で安心して住みたくなる幸せを感じるまち



若者が活躍するまち。豊かなまち。幸せ感じるまち。